

平成 26 年 3 月 22 日

## 話題提供者 資料

### <目 次>

1. 群馬県前橋市におけるボランティア活動について ..... 1  
話題提供者：高山弘毅氏  
(前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター 主事)
2. 関東甲信大雪災害における除雪ボランティアの課題について ..... 15  
話題提供者：上村靖司氏  
(長岡科学技術大学工学部 准教授／越後雪かき道場 筆頭師範代)



内閣府 防災ボランティア活動検討会  
年度の大雪等における災害ボランティア活動に関する話題提供

「群馬県前橋市におけるボランティア活動について」

社会福祉法人 前橋市社会福祉協議会  
ボランティアセンター 主事 高山弘毅

1

1

意識していたこと。

- ◆ 社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを運営する意味
  - ・ 当会には「災害ボランティアセンター設置マニュアル」がなかった。
  - ・ 雪かき作業員の派遣センターではなく、
  - ・ 命と暮らしを支える社協ならではの災害VCに。
  - ・ そのためには多くの方の力を躊躇なくお借りする。
  - ・ 「社協らしからぬ」という声を多くいただいたが、自分とすると「オーソドックスに社協らしく運営した」と思っている。
- ◆ リーンスタートアップ
  - ・ 本当かわからない仮説を元に「災害VC」の仕組みをしっかりと作る(例えば作りこみすぎたマニュアル通りに) のではなく、具体的につかめたニーズになるべく早く対応するところから始める。その上で、依頼者からのリアクション、ニーズの広がり、変化や、スタッフか運営上得た学びなどから活動内容や規模を変化させる。スタート時の人的・時間的・金銭的負荷を小さく。失敗も早く小さく。
- ◆ レジリエンス
  - ・ 先行きの見えにくい困難に臨機応変に対応し、しなやかに乗り切る。
  - 「前よりもっとたすけあえる前橋にしていきたいと思います！」

3

前橋市の降雪被害状況



2月14日-15日にかけて降雪  
観測史上最高の73cmの積雪(15日午前8時)  
人的被害：死者1名 重傷者1名 軽傷者11名  
住家被害：床上浸水1件 その他カーポート、物置等の倒壊多数  
農業被害：ハウスや畜舎が1,000棟以上倒壊 被害額50億円以上

2

全市域にまんべんなく大雪が降ったために。

つながりのある地縁組織や、いわゆる「地域ボランティア」をあえて運営協力の選  
択肢から外した。

- ・ どの地域でも“たすけあい”の担い手が必要。その方々を地域から引き抜いてはい  
けないと考えた。一方で災害ボランティアに来なくてもたすけあっている方々に、  
肯定・承認のレスポンスをしたかった。(行けなくてごめん、との連絡多数)

→前橋市大雪たすけあいセンターという命名につながる。

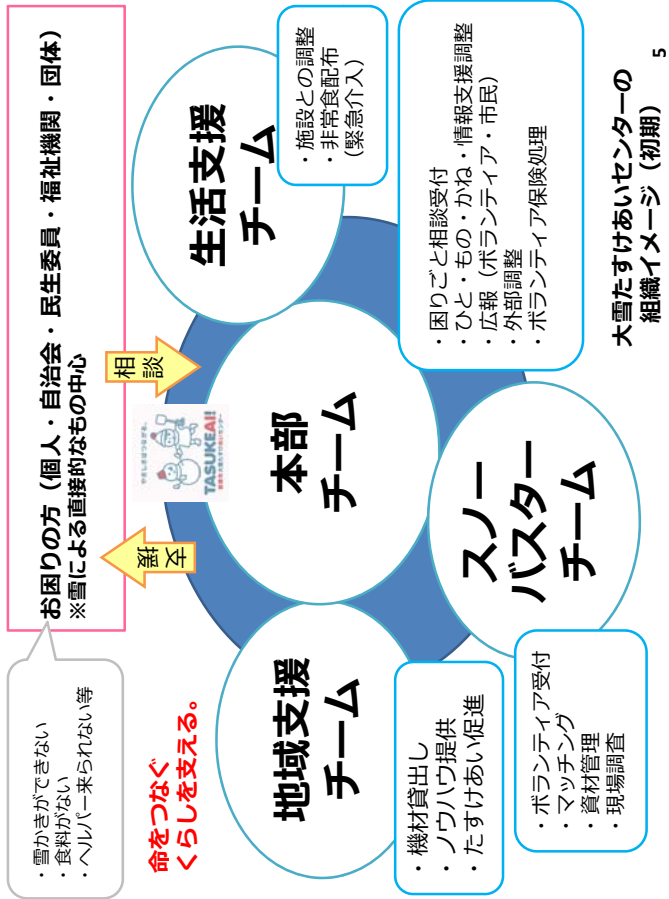
**ゆきセンクレド(2月23日制定)**

市民みんなが  
住みなれた地域で  
安心して暮らせるように (迷ったらここに戻る)

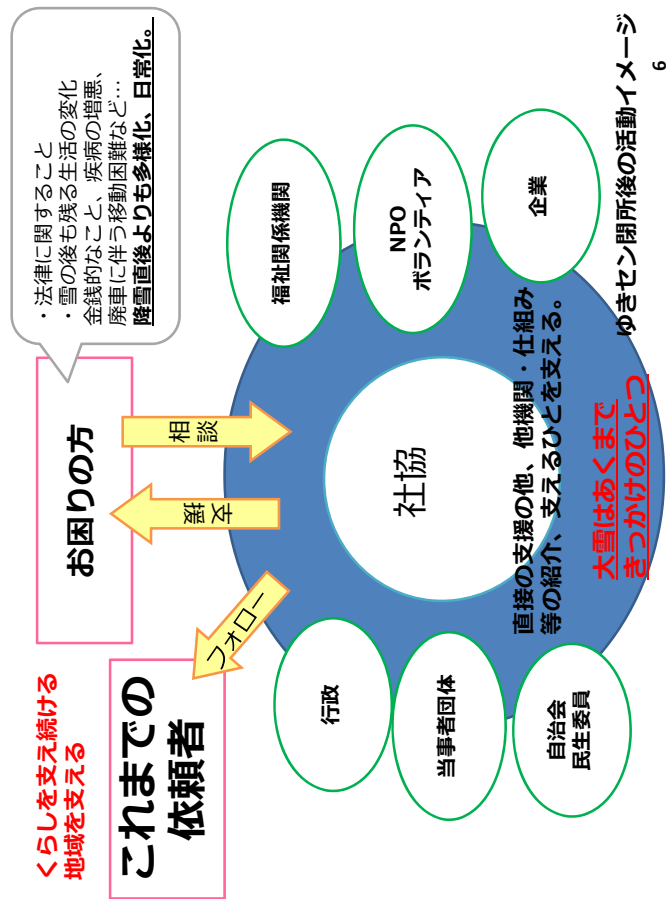


普段はどここの社協でもお題目感全開で使ってて、変わりばえしねえなー、と思っ  
ていた基本理念が、魂込められた形で今、目の前にある事。それが僕らを困難に  
立ち向かわせてくれていきます。(2/28FB投稿より)

4



(ご参考) 経過



くらしを支え続ける  
地域を支える

これまでの  
依頼者

・法律に関すること  
・雪の後も残る生活の変化  
金銭的なこと、疾病の増悪、  
廃車に伴う移動困難など…  
降雪直後よりも多様化、日常化。

なにもないところから始まりました。

- 平野部の一過性かつ大量の降雪…
- ・災害ボランティアセンター設置の話を聞いたことがない。
  - ・資機材がない。(そもそも何が必要かわからない)
  - ・降雪対応のノウハウがない。
  - ・人材がない(職員が参集できない。地域の活動からは人材を引き抜けない。)
  - ・災害救助法の適用はなさそう…となると共同募金の準備金も使えない。

- 一方で困りごとは早くから聞こえてきていた。
- ・要援護者が孤立している。生活の幅が著しく狭まっている。
  - ・非常食の必要性のある方が多い。
  - ・たすけあえるひとがいるのに資機材がない。
  - ・(実際に見た“雪かき道具”：移植ごて、ちりと、ビールジョッキetc…)
  - ・雪捨て場のない市街地の苦戦。

## 立ち上げ準備期間

- ▶ 2月14日(金)
  - ・日中より降雪
- ▶ 2月15日(土)
  - ・午前8時時点で73 cmを記録。社協職員は事務局長以外出勤できず。
- ▶ 2月16日(日)
  - ・事務局に出勤した者5名。ヘルパーズセッションの電話が鳴り続けている状態。
  - ・事務局長と高山で災害VC立ち上げ協議。
  - ・合わせて常務理事、事務局次長、所長と電話で災害VC設置協議。
  - ・16時に市危機管理室長に災害VC設置の方向で準備する旨連絡。
  - ・にいがた災害ボランティアネットワーク李事務局長に資機材・運営支援の打診。

9

## 開設

- ▶ 2月18日(火)
  - ・FBページ、twitter、公式サイト立ち上げ。ロゴデザインは前橋○○部長藤沢陽氏。
  - ・午前8時30分前橋市大雪たすけあいセンター開設。実質は引き続き準備
  - ・ボランティアの募集は19日から。相談受付を開始し、透析が必要な方や食料や灯油が尽きた方への緊急支援を職員が訪問する形で実施。
  - ・希望する介護保険関連事業所への非常食配布受付をゆきセキ内に設置、市役所介護高齢課の職員が常駐で対応して下さる。～23日
  - ・県社協連じ、県内市町村社協に「社協における災害時支援に関する協定」による支援要請。
  - ・県社協より関東ブロック協定による社協職員の派遣打診。派遣開始までのタイムラグを考へてお断りする。
  - ・市役所危機管理室からスコップ50本、連合群馬からスコップ10本届く。
  - ・メディアからの取材10件。FBページなどの開設も功を奏し、概ね期待通りの報道をしていただく。
  - ・相談が約60件入る。
  - ・新潟県小千谷市からSVTS風相が来セン。大雪たすけあいセンター設置場所である市総合社会館駐車場と、自治会から相談があった千代田町五丁目の2か所を除雪機にて除雪対応くださる。

11

## 立ち上げ準備期間

- ▶ 2月17日(月)
  - ・事務局勤務の職員60名ほどのうち、出勤率は2割程度。
  - ・朝方FACEBOOKの個人アカウントで準備状況の発信。シェア80件以上。
  - ・FACEBOOKユーザーの市長から激励の電話が入る。
  - ・名称を「前橋市大雪たすけあいセンター」とする。
  - ・市社協介護事業課が関わる400件のケースのうち、25%100件ほどが訪問不可能状態と判明。市役所介護高齢課に連絡し、連携を確認。地域包括支援センター11か所、地域包括プラン手1.1か所、介護保険関連事業所に一斉メールで情報リリース。
  - ・市役所障害福祉課、市障害者生活支援センターに情報リリース。
  - ・自治会、民生委員に安否確認と情報提供を依頼。（自治会は市に連絡依頼、民生委員は当会が連絡）
  - ・災害救助法適用はないとみても、県共同募金会の独自積立金助成について打診。
  - ・ボランティア活動保険「大規模災害特別措置」適用を群馬県社協、全社協に要請。
  - ・柏崎市社協に豪雪ボランティアの書類様式や必要な道具について相談。
  - ・いわき市社協に資材貸与の相談。夕方にはスコップ100本届けて下さる。
  - ・NITTOコマ群馬支店にレンタル携帯の問合せ。即日2台無償貸与いただく。
  - ・NPO法人あかぎの森の幼稚園理事長棚島さんが夕方ミーティングに参加後、学生や活動の仲間に呼びかけ。集まったメンバーがゆきセキスタップとして最後まで参加くださることに。
  - ・コミュニティFM「まえばしCITYエフエム」にて大雪たすけあいセンターに関する広報開始。
  - ・にいがた災害ボランティアネットワークの李事務局長が前橋に到着、コンセプトメイクの作業を行う。以後20日AMまで運営支援

10

## 開設後

- ▶ 2月19日(水)
  - ・要援護者世帯の非常食配達などの緊急支援を継続。
  - ・榛東村社協職員1名を派遣いただく。～23日
  - ・新潟県南魚沼市社協がボランティアバスにて来セン。19名で活動いただく。
  - ・活動終了後、除雪機、スコップ、スノーダンプ等をそのまま貸与いただく。
  - ・長野県飯山市社協職員が資機材持参で来セン、雪かき活動をしながらノウハラ提供くださる。～21日
  - ・ホームページアクセスが10,000件/日を超える。FBページも数万件のリーチ。
  - ・メディア対応7社。掲載・取材あり。
  - ・市役所生活課より「自治会にはゆきセキ開設について今日”文書を郵送した”」
  - ・市警戒本部「今日、ゆきセキ開設についてメディアに投げ込みました」
  - ・とちぎボランティアネットワークよりスコップ25本届く。
  - ・横断幕、入り口看板、名札スタッカー届く。

12

## 開設後

- ▶ 2月20日(木)
  - ・非常食配布の支援続く（6件）
  - ・片品村から2トング、片品村社協から除雪機と職員1名を派遣いただく～23日
  - ・市からトレラーハウス届く。技術系ボランティアの宿泊・待機所として使用 ～24
  - ・いしがた災害ボランティアネットワークより11トントラック1台分の資機材届く。
  - ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議を通じ、ソフトバンクモバイル（株）より携帯電話5台無償貸与相談用回線のバンク解消。
  - ・にいがた災害ボランティアネットワークより多川孝義氏を派遣いただく～23日
  - ・県社協、県内社協からの協定に基づく職員派遣開始。
  - ・市警戒本部に訪問しての情報交換叶う。
  - ・少なくとも週末までの開設を決定。
- ▶ 2月21日(金)
  - ・非常食支援ニーズがなお継続（3件）
  - ・同一自治会内で2件ニーズがあったので自治会に相談したところ、自治会とゆきセンで協力を対応することに。2日10時作戦開始。
  - ・口コミ情報の拡散に苦慮。翌日以降ボランティアの活動時にチラシを持ってもらい、様子を見に来た近隣の方などにもお渡しすることを決定。
  - ・北関東クボタからトラック貸与、運転手の派遣をいただく。

13

## 2回目の週末以降

- ▶ 3月1日(土)～7日(金)
  - ・雪かきニーズの減少。
  - ・要援護者への支援が中心だったために、雪はなくなったのか、雪により生じたニーズは解消されたのか、雪によって生活が変化したことにより新たに生まれた困りごとはないかを確認する必要があると感じていた。
  - ・そのため、依頼者への訪問キャンペーン「前橋ゆきどけ週間」を実施。すべての依頼者を再訪問することで、雪によるニーズの抜け漏れ、新たな困りごとの掘り出しにつながった。
  - ・新たな困りごとはもともと社協が持っている地区担当制による個別支援や、介護・障がい者サービス、ボランティアセンターなどの機能、行政、民生委員、地域包括支援センターなどの関係機関との連携により支えていくことを確認した。
  - ・3月2日には福島県南相馬市社協の職員が1名お越し下さり、訪問活動に同行いただいた。
  - ・最終日の3月7日は「大雪、おつかれさまでした」と題し、全国からお借りした資材をお返りするための準備を整える「全国お返し大作戦」と活動をボランティアとともに振り返り、日ごろの活動へとつなげるための「閉所式」を実施。最終日には日帰りのボランティア活動に取り組みうとボランティア登録してくださった方が11名いらっしゃった。

15

## 最初の週末

- ▶ 2月22日(土)～23日(日)
  - ・非常食配布の支援が減少。
  - ・ボランティアセンターでは手狭なため、週末のみ1Fでボランティア受付を行うことに。
  - ・「前橋いっせい雪かき大作戦！！」を実施。前日からFACEBOOKへのアクセス上昇。
  - ・ゆきセンの活動のみならず、市内各地で雪かきに取り組み写真が、ゆきセンの用意したFBページに多数投稿される。
  - ・全国ボランティアコーディネーター研究会（JVCC2014、会期2/22～23）の会場にゆきセン応援ブースが設けられ、22日に実行委員の皆さんが応援メッセージと応援募金を届けにくたさる。
  - ・福島県いわき市よりいわき市社協職員4名が来セン。22日
  - ・茨城県よりボランティアバス「チーム石塚」39名が来セン。23日
  - ・新潟県魚沼市より魚沼市社協ボランティアバス13名が来セン23日
  - ・上記以外にも県内外の社協やNPOのスタッフがボランティアに応援のためお越し下さる。

14

キャンペーン

16

この週末で  
そろそろふりこけちゃっ？

maebashi  
Event  
Festival  
Autumn event

2.22(土)・23(日)  
am 9:00～  
一斉スタート!

前橋市大雪たすけあいセンター  
いっしょに 各々がやれる所で

前橋市大雪たすけあいセンター  
いっしょに 各々がやれる所で

前代未聞の残雪に立ち向かう！オール市民参加型の大作戦！

- A** 自分の気になる場所を 各々が雪かきしてみよう！
- B** 「前橋市大雪たすけあいセンター」の活動に参加してみよう！
- A+B** 共通... その気になった場所やご近所さんが、更に参加してくれるかもしれない！このイベントページにも掲載してみよう！

呼びかけ：前橋市大雪たすけあいセンター（前橋市社会福祉協議会内） 電話番号：090-4833-0942 協力：前橋OO部

2月22～23日：前橋いっせいで雪かき大作戦！ よびかけバナー



天田 令子 ▶ 前橋いっせいで雪かき大作戦！  
フォローする・2月23日

一山あった歩道の雪をいいて、割ってみました。これで登校班二班が通常に近いルートを取れます！皆さんThank you ☺️— この写真に写っている友達：水野燕子

いいね！を取り消す・コメントする・お知らせを受け取る・シェア

前橋市大雪たすけあいセンター 長谷町 治さん、山本龍さん、新井 康志さん、他20人が「いいね！」と言っています。

水野燕子 こちらこそ、明日は遅らなければ良いですねえへ。本当に運の雪かきお疲れ様でした！  
2月23日 11:54・いいね！・431

天田 令子 明日、本当に来ないといひですな〜  
2月23日 12:02・いいね！・431

間 剛士 拍手！  
私は昨日、自転車でも私立図書館に行く途中、何層も歩道から重運への移動を余念なくされ、ヒヤリがありました。頭が下がりますm(\_ \_)m  
2月23日 15:46・いいね！・431

天田 令子 前橋のこのイベントのおかげでやる気出ました！これを回避することは交通量の多いところになることなので...f(〇ー)〜f(〇ー)〜f(〇ー)〜  
2月23日 17:03・いいね！・432

コメントする...



前橋市大雪たすけあいセンター  
いいね！していいよ！2月22日

半日おのまかせで受け付けた半日、スタッフが7名を動かして下さっています！そのほかにも自発的に雪かきをして下さっている方はたくさんいますよ。外は回って来たスタッフも「そこらじゅうで雪かきしてよー！！！」と騒いでおりました。なので、市内全域の活動参加者は把握できないと思います(笑)

いいね！を取り消す・コメントする・シェア・編集

前橋市大雪たすけあいセンター 後藤 文彦さん、Akiho Satoさん、他27人が「いいね！」と言っています。

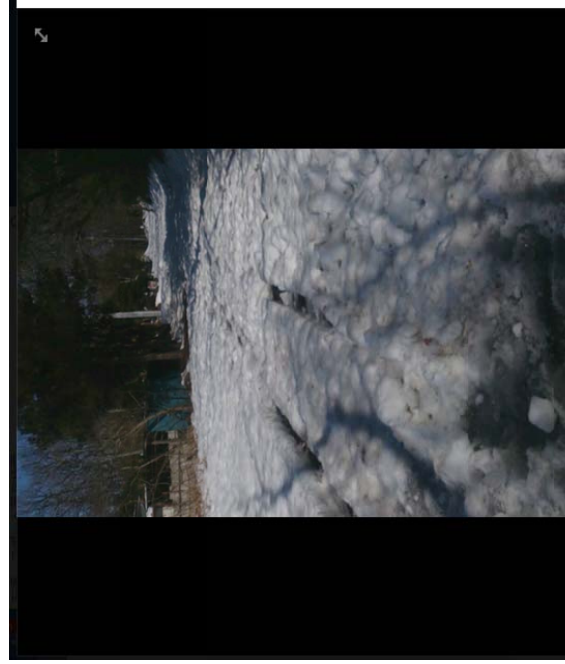
シェアする

Taizou Awazu 素晴らしい！  
いいね！・愛護・42・2月22日 14:26

コメントする...

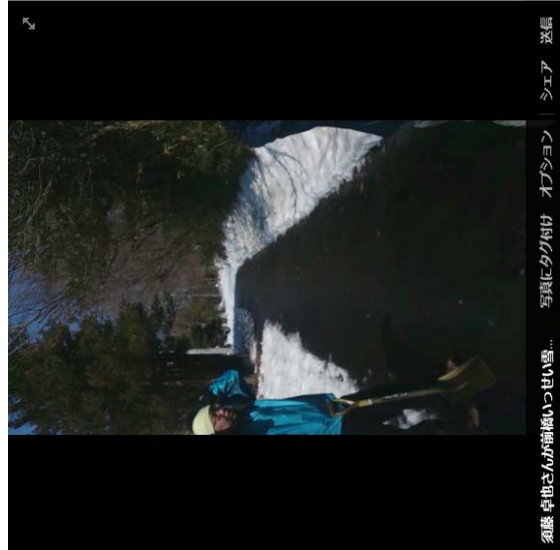
友達リクエスト

すべて表示



【期間限定】低い価格コスト(1円)で8  
tokaiokyo.co.jp

世界銀行グループ  
アワードで優勝。  
一定の条件のもと  
年9.00%  
からへ



須藤卓也さんが前橋いっせいいい雪... 写真にタグ付け オプション シェア 送信

須藤卓也 ▶ 前橋いっせいいい雪かき大作戦!  
2.22 (土)・23 (日)  
2月23日

開通しました!  
いいね! を取り消す・コメントする・お知らせを受け取る・シェア

前橋市大雪たすけあいセンター、家で鳥 重入さん、音楽道 二さん、野村 雅弘さん、他7人が「いいね!」と書いています。

Kaori Ishikawa 富士見でしょうか?  
2月23日 12:13 - いいね! ・❤️1

須藤卓也 ありがとうございます! 2月23日 12:25 - いいね! ・❤️1

前橋市大雪たすけあいセンター 須藤さん、お疲れ様です! 2月23日 12:29 - いいね! ・❤️1

コメント9条...



前橋市大雪たすけあいセンターの活動を紹介します。イラストには、雪かき作業をする人々と猫が描かれています。

だれもがうれしいのは、  
つもがくるのは。  
いっせいいい雪かき大作戦!

まえばし  
yukidoke  
week  
3.1-3.7

期 間  
3月1日(土)～7日(金)  
おらおらおでまららららでやこてまら

もう一歩進んだ参加をしてみよう

**A** 「残雪バスツアー」になっってゆきどけさせよう。

**B** 「前橋市大雪たすけあいセンター」の活動に参加してお宅訪問をしてみよう。

そして!! 「残雪バスツアー」や、お宅訪問の様子をFacebookやTwitterでみんなに報告してみよう!

どんなかな? 1週間

前橋市大雪たすけあいセンター閉所へ  
除雪を依頼した家庭を再訪問するボランティアたち

7日までボランティア困り事対応

除雪を依頼した家庭を再訪問するボランティアたち

市街地 歩いて探検

前橋市大雪たすけあいセンター閉所へ

除雪を依頼した家庭を再訪問するボランティアたち

ボランティアは、雪かき作業を依頼した家庭を再訪問するボランティアたち

ボランティアは、雪かき作業を依頼した家庭を再訪問するボランティアたち



左：ボランティアと職員がユニットで訪問  
右：ゆきどけバック 右下：あんしんカー25



今日は再び雪センへ行ってきました。そして今回は「前橋ゆきどけ訪問活動」ということで、雪かきした家へ再度訪問してその後の困りごとや追加の雪かきニーズがないかを確認する活動に参加しました。午前5件、午後4件、うち3件の方がいてお話を伺うことができました。

初めは「社協」のもので、に「誰？」と戸惑う方もいらっしゃいましたが、雪かきをしたらきた～と説明をすると、表情や声色が柔らかくなってお話をしてくれました。第一声に、「この間はありがとう!」から言葉をお聞きすることが多かった印象です。自分が雪かきに行ったところなど、こういった声を取りたいと聞かされたのは、やはり嬉しいです。だっだっ笑顔を、笑顔返さないかなくとも声にハリがあったりも、こちらから、訪問結果としては、雪が家の敷地内に残っているお家は1件だけで、歩いてたり車を止めたりするのは、支障はない程度に雪は溶けています。なので「雪」の困りごとには特にはありませんでした。

続けて、「その後の困りごとはありますか?」と聞くと、初めは話しづらそうでも、次第に日々の生活の中での困りごとが出て来たりします。更に、「次に何かあった時にすぐ連絡がとれるようにしておくことを希望しますか?」にも「はい」と応える方が全員でした。一見生活が1人でできるようでも、あるいはヘルパーさんがきてくれていたりとしても、やっぱり不安はどこかにあるのだなあ。

そしてそれを「雪かき」という時間を共有できたことで、少しずつ私たちにも「言ってくれる」ようになってきていたのかも言いたくない、と感じました。と同時に、雪かきのときは言えなかった、私たちに対して不安や不満に思ったことも言ってくれました。雪かきのときは言えなかったのかも申しあげて、私たちに「ぜひ、勿論それは、耳の痛いやものもあるけれど、でもそれは私たちにってはアドバイスという形に置き換えるものなので、言ってくださることも貴重なものだと思いたいです。このゆきどけ訪問の活動を通じて、日常生活に戻って、たすけあいの習慣を習慣化させていくきっかけづくりが双方にできてくるのだな」と今日一日の活動を通じて感じました。

個人的には、こうしたその後の訪問活動でお話をする機会を通じて、自分自身の地域との接し方などを見直すことも良いきっかけになりました。そして何よ、こうして会う機会を私自身が作れることで、もしかしら市内を歩いていたり近距離を通るときには気付いて声かけてもらったりしてもらえたりもわかってわかってわかって、笑も、期待も、私でもありませんが、この挨拶のある街と日々感じていました。でもこの活動を通じて、その挨拶の輪がもっと広がっているのがあって、もしかしらに出逢ったおはあちゃんはあんなに嬉しいかもしれないと思っています。普段は私は何をしてあげてもいいです。でもこうして一緒の時間を共有するだけで、そう感じました。心感が生まれるんじゃないかあって、、、おかげさかもしくはないけれど、そう感じました。  
26

やさしさは、つながった。  
**TASUKEAI!**  
前橋市大雪対策お助けセンター

## 大雪、おつかれさまでした。

「前橋大雪たすけあいセンター」は3月7日(金)をもちまして閉所いたします。

最後に、  
みなさんといっしょに  
やりたいことがあります。

① 全国おかせし大作戦! 3月7日(金)13:00 スタート  
今回の大雪をうけ、全国から送っていただいた雪かき用資機材をお返しする準備をしましょう。今回届いた資機材は単日本国産の業者から送ってまいります。お時間ある方はぜひお返しください。お返しは送料を免除させていただきます。  
② ゆきセン閉所式! 3月7日(金)16:00 スタート  
今日のゆきセンは閉所します。そこでさややかな閉所式を行います。お時間ある方はぜひお越しください。お返しは送料を免除させていただきます。お返しは送料を免除させていただきます。  
ゆきセンには、雪かき用資機材を扱う、運送、回収ができるようにスロットや何らかの形で閉所させていただきます。お返しは送料を免除させていただきます。  
ゆきセンの閉所は、前橋市大雪対策お助けセンター(前橋市社会福祉協議会内) 電話番号: 090-4833-0942 へお問い合わせください。



3月7日 ゆきセン最終日  
資機材返却準備の後閉所式。  
合わせて希望してくださった方が  
何人も平時のボランティア登録。





行政との連携



- ・市警戒本部との連携（情報発信・収集・資機材調達・雪捨て場など）
- ・介護高齢課の大雪たすけあいセンターへの参画（地域包括・事業所への連絡、非常食管理など）
- ・障害福祉課、保健所保健総務課なども情報発信にご協力くださった。
- ・平日の人が集まりにくい時に雪かき要員として職員派遣
- ・市長は度々ゆきセんに電話や来センにて状況確認、Facebookで情報シェア。
- ・若手職員を中心に休日に休日も自発的参加をして下さった。

前橋市社協と多様な方々との連携・協働

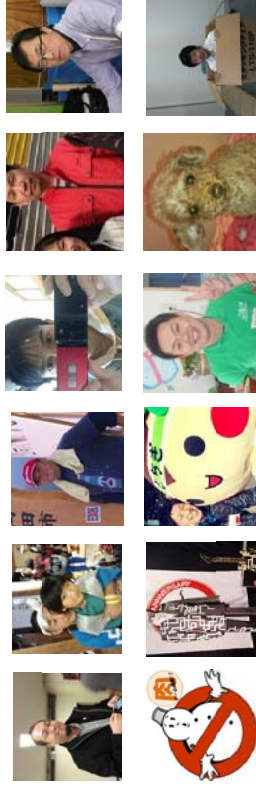
市内団体との連携



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

①前橋〇〇部は、〇〇に好きなことを入れて前橋を楽しんで集まる人を増やそうというゆるい集まり。今回は社会解決のためのつながりにシフトできた。②M-boxは、コミュニティデザインなどに取り組む株式会社オリエンタル群馬が前橋まちなかに開いたオルタナティブスペース。今回はSNS上で情報のキャッチ&リリースを行っていた。③まえばしCITYエフエム（通称M-WAVE）。コミュニティFM局として雪に関する情報発信。ゆきセんに関する広報に協力いただいた④前橋市市民活動支援センター（通称Mサポート）は市民活動団体への情報提供等で連携くださった。⑤ぐんま豪雪被災農家支援プロジェクトは、今回の雪を機に立ち上げ。当会はスタートアップ支援。

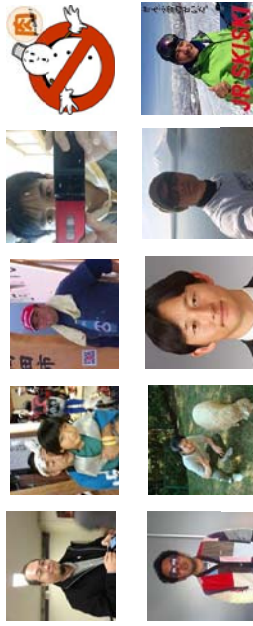
人材に関する支援



- ①にいがた災害ボランティアネットワーク
- ②尾野豊船山市社協木舗さん
- ③福島県いわき市社協磯原さん
- ④新潟県南魚沼市社協本多さん
- ⑤神戸市社協長谷部さん
- ⑥栃木県小野原さんの片品社協王明さん
- ⑦福島県南相馬市社協佐藤さん
- ⑧栃木県市貝町社協北井さん
- ⑨NPO法人あかぎの森のよちえん柳島さん
- ⑩村町社協新井さん
- ⑪県社協高橋さん
- ⑫

平野部の一過性の大雪という特性から短期間の運営と考えたとき、既存の派遣スキームは意思決定までのタイムラグを考えると残念ながら馴染まず、県内社協協定に基づく派遣以外は、これまでどのつながりから市町村社協やNPOに直接相談する形が中心となった。また、休暇等を利用し、ボランティアに参加してくれた経験豊富な県外社協、NPOのスタッフも多かった

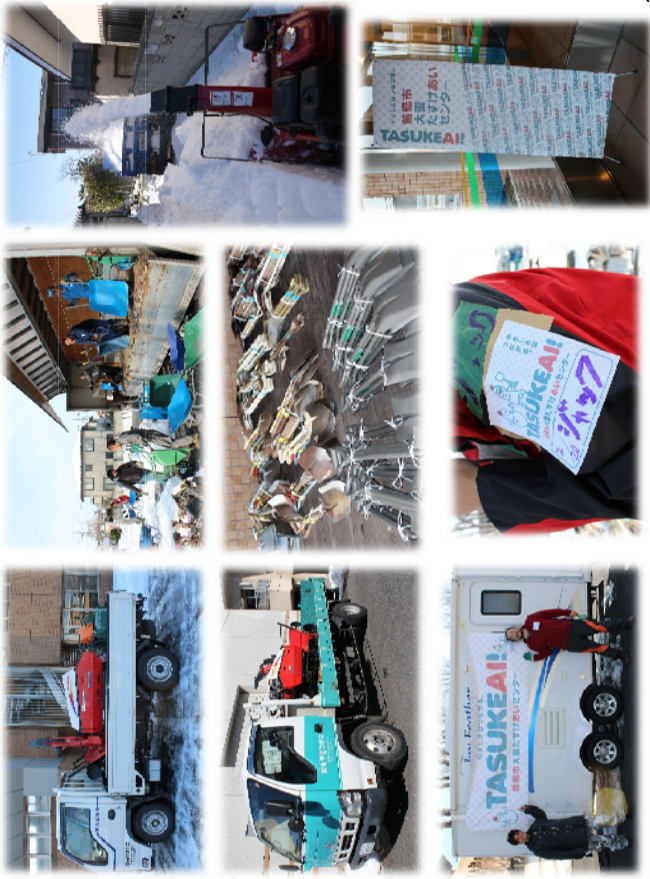
活動資機材に関する支援



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

①にいがた災害ボランティアネットワーク季さん②長野県飯山市社協本舗さん③福島県いわき市社協篠原さん④新潟県南魚沼市社協本多さん⑤片品村社協千明さん⑥とちぎボランティアネットワーク柴田さんのNTTドコモ群馬支店児島さん⑧北関スクリーン野村さん⑨前橋トレラン部高橋さん⑩株式会社Go Strategy飯塚さん

雪害に対応する資機材はほぼゼロのところからスタートすることになった。おつきあい深い団体の方が持参くださったり、雪国の方が運営支援、ボランティアバスでの活動をしなから資機材をお持ちくださったりで、コミュニティへの貸し出し分まで充足できた。サイン関係、資機材運送では業者さんも災害モードで特別対応くださった。



運営資金に関する支援

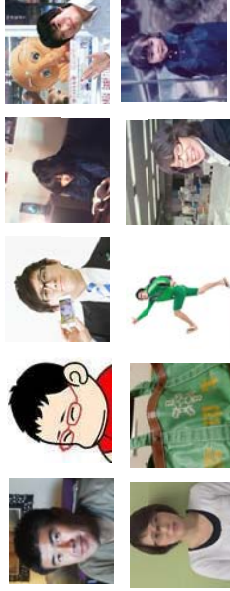


- ①
- ②
- ③
- ④

①群馬県共同募金会星野さん②群馬県社協中越さん③群馬県社協松谷さん④群馬県社協高橋さん

災害救助法適用がないため共同募金の準備金は使えない状況の中、県共同募金会の積立金による助成金、県の災害ボランティア基金の拠出を早めに判断いただいたため資金面の不安なく活動できました。

情報発信に関する支援



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

①調布災害VC、伊豆大島町社協災害VCなどのITサポートにも関わった柴田哲史さんはweeblyサイト構築を担当②安川災害FMIに立ち上げ期から関わり、日本エクスポートチーム教団共同代表としても有名な天谷啓介さんは主にtwitterを担当③前橋OCO部長藤澤隆嗣さんはロイヤルヤンパングデザインなどのデザイン④FMぐんまの本島順子さんは体験を利用し広報を担当。長く災害時の情報発信について考えてきた⑤日本NPOセンター吉田さん⑥中央共同募金会城さんは様々なひととのコーディネートやアドバイザーをくださいました。⑦(株)ヘルシーミレッジはゆきせんのチラシを配達の際配布下さり、困りごとがある方の起しにつなげられました。また、新聞店、郵便局など配達業務がある業種の方に協力いただくきっかけになりました。地元メディアの⑧まえばしCITYエフエム竹内さん⑨上毛新聞江原さん⑩NHK前橋局小野沢さんは丁寧な取材に響く情報発信をして下さいました。

災害VCの中で一番初めに助けてほしい！と手を挙げたのはこの情報発信の部分でした。ひとひとのつながりの中で、素晴らしいメンバーが集結してくださいました。地元メディアの方々にも、きちんと私たちが目指すものをお伝えすることで丁寧な報道をしていただけました。



左下：公式ウェブサイト  
 右下：Facebookページ  
 右上：twitter

こんなことに困っていませんか？

前橋市大雪たすけあいセンター（前橋市社会福祉協議会）では、65歳以上の方や障がいをお持ちの方で、雪かきや、買い物、薬を取りに行く代行など、雪によってできてしまった困りごとを解決するお手伝いをいたします。

ご自身がお困りのことや周りで困っている人がいましたら、下の連絡先までご連絡ください。

電話番号：090-4833-0942

受付時間：8:30～17:15

※つながりにくい場合は027-232-3848にどうぞ。

FAX番号：027-219-0337

前橋市大雪たすけあいセンター

前橋市日吉町2-17-10（前橋市総合福祉会館内）



キャンペーンバナー



日付	曜日	曜日
2/17	月	6976
2/18	火	23829
2/19	水	24071
2/20	木	17109
2/21	金	33008
2/22	土	22811
2/23	日	13000
2/24	月	8768
2/25	火	10284
2/26	水	9920
2/27	木	8676
2/28	金	10560
3/1	土	9756
3/2	日	7501
3/3	月	7161
3/4	火	5944
3/5	水	4164
3/6	木	8605
3/7	金	9996

開設からのFacebookへのリーチ数

結びに変えて 2月28日発行 社内ニュースレターより

これからの私たちは…

雪による直接的な困りごと、すでに去ったものとはたとえば食糧不足や灯油切れ。雪かきもだんだんに減るでしょう。春にはどうしたって溶けてしまうもの。

でも、雪による生活の変化によって生まれた困りごととは簡単にはなくなりません。雪で孤立した期間にご病気を悪化させてしまった方。精神疾患をお持ちの方が、症状を増悪させている話も伝わってきます。仕事が今までのようにはできなくなってしまった方もいらっしゃるでしょう。貸し付けのニーズも増えるかも知れません。「長く歩けないから、カーポートの下でつぶれてしまった車に乗って買い物に行っていたんだよ、これからはもう行けないよ…」という方のお話を伺いました。その方はどうやって買い物をするのでしょうか？

こうした方々を支える覚悟を社会福祉協議会が持たなければならぬと思います。オール前橋市社協で取り組まなくてはならないフェーズがやってきました。今回多くの市民に頼りにしていただいたこと。市やNPO・ボランティアや企業の方々との信頼関係を結び連携・協働して活動を展開できたこと。新しい地域福祉活動推進に向けて頑張っていきましょう。

## 前橋市大雪たすけあいセンター活動実績（概算）

前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター

開所期間：平成26年2月18日（火）～平成26年3月7日（金）18日間

日付	ニーズ数		活動ボランティア数			
	受付件数	対応済	1回目	2回目以降	市職員	合計
2月18日(火)	61	5	0	0	0	0
2月19日(水)	99	46	68	0	0	68
2月20日(木)	76	98	20	12	60	92
2月21日(金)	64	51	20	10	107	137
2月22日(土)	30	60	63	10	13	86
2月23日(日)	21	40	74	37	11	122
2月24日(月)	31	11	4	5	12	21
2月25日(火)	26	10	5	10	0	15
2月26日(水)	18	8	7	10	0	17
2月27日(木)	18	30	31	14	0	45
2月28日(金)	4	86	5	8	0	13
3月1日(土)	2	1	12	9	0	21
3月2日(日)	2	5	11	9	0	20
3月3日(月)	0	0	1	3	0	4
3月4日(火)	1	2	2	9	0	11
3月5日(水)	0	0	4	3	0	7
3月6日(木)	0	0	3	10	0	13
3月7日(金)	0	0	4	15	0	19
合計（延べ）	453	453	334	174	203	711

※初日等、緊急性が高い事案は、社協職員で対応。2・28に対応済件数再調整修正。

## 前橋市大雪たすけあいセンター開設をしました！

前橋市社会福祉協議会は本日2月18日、大雪による生活困難の解決と、コミュニティ内でたすけあう方々を応援する災害ボランティアセンター「前橋市大雪たすけあいセンター」を開設しましたのでお知らせいたします。 開設期間：平成26年2月18日から当面の間

前橋市大雪たすけあいセンターでは

①ご高齢の方、障がいをお持ちの方への雪かきを含めた生活支援

(例：玄関周りの雪かき、非常食のおとどけ、買い物の代行、薬を取りに行くなど)

②医療福祉施設など復旧が優先される場所の雪かき

を必要としている方とボランティアを調整していきます。

また、③雪かき資機材を必要としているコミュニティに資機材をお貸出しし、地域内の助け合いを応援します。※現在鋭意調達中です。

### こんなことで困っていませんか？また周りに困っている人がいませんか？

ご高齢の方、障がいをお持ちの方で家の雪がかけず外に出られない、また道が悪くて買い物に行けない、通院が出来ない方

→ボランティアでお手伝いできることは大雪たすけあいセンターでボランティアさんを紹介します。それ以外でもご相談に乗り、困りごとを解決してくれそうな相談先を探します。

雪かきに追われ、治療やケアに十分な人員を充てられずに困っている医療・福祉施設など

→雪かきを手伝ってくれるボランティアさんをご紹介します。

自治会やご近所同士で周辺生活道路などを雪かきしているが道具が足りない方々

→大雪たすけあいセンターで道具をお貸しします。

ボランティアの協力を依頼する方へ

ボランティアさんは、皆さんのお手伝いをしたいという気持ちで集まっています。何でもできるわけではないということと、以下の点をご了承ください。

- ・専門的技術や危険を伴う作業など、ご要望にお応えできない場合もあります。
- ・皆さんのご依頼に、すぐにお応えできない場合もあります。
- ・ボランティアは無料です。食事の用意も不要です。

### 依頼方法

前橋市大雪たすけあいセンターにお電話をください。

困りごと(ボランティアを必要としている方)受付専用電話

090-4833-0942

つながりにくい時は027-232-3848 (前橋市社協ボランティアセンター)

受付期間・時間

8：30～17：15

### ボランティア参加を希望される方へ

活動への参加にあたり予約等は必要ありません。

直接、前橋市大雪たすけあいセンターにお越しください。

#### 【ボランティア募集の対象】

特に制限はございませんが、現在前橋市内の道路網は十分機能していないのが実情です。また、除雪も進みつつありますが、激しい渋滞も起こっています。交通情報をご確認いただき、雪道でも安全移動できる方でしたら歓迎いたします。

#### 【ボランティア受付時間】

午前9時～12時00分までといたします。

#### 【ボランティア活動時間】

午前：活動紹介後12時00分まで 休憩：12：00～13：00 午後：13：00～15：30

#### 【活動内容】

- ①ご高齢の方、障がいをお持ちの方への雪かきを含めた生活支援  
(例：買い物の代行、薬を取りに行くなど)
- ②医療福祉施設など復旧が優先される場所の雪かき
- ③雪かき資機材を必要としているコミュニティへの資機材配送
- ④運営スタッフ(なるべく継続的にお越し下さる方歓迎)
- ⑤専門技術などをお持ちの方は個別にご相談ください。

#### 【持ち物・服装など】

雪かきに適した服装

お持ちの方は除雪道具を持参ください(スノーダンプ、スコップなど)

服装・持ち物などは「越後雪かき道場」のゆきかき道指南書が参考になります。

<http://dojo.snow-rescue.net/modules/myalbum0/viewcat.php?num=14&cid=2>

お問い合わせ

前橋市大雪たすけあいセンター(前橋市社会福祉協議会)

住所：前橋市日吉町二丁目17-10

困りごと(ボランティアを必要としている方)受付専用電話：090-4833-0942

総合受付(支援をお考えの方、その他問い合わせなど)：090-4052-2042

つながらない場合は：027-232-3848(前橋市社協ボランティアセンター)

：027-237-1112(前橋市社会福祉協議会)

## 前橋市大雪たすけあいセンターの閉所について

前橋市社会福祉協議会は、2月18日(火)に開設し運営してまいりました、大雪による生活困難の解決と、コミュニティ内でたすけあう方々を応援する災害ボランティアセンター「前橋市大雪たすけあいセンター」の活動を、3月7日(金)をもって閉所し、困りごとの相談については通常の前橋市社会福祉協議会の活動内での対応に移行しますのでお知らせいたします。

前橋市大雪たすけあいセンターでは開設以来、ご高齢の方、障がいをお持ちの方への雪かきを含めた生活支援（雪かき、非常食のおとどけ、買い物の代行、薬を取りに行くなど）、医療福祉施設など復旧が優先される場所の雪かきなどを必要としている方とボランティアを調整してまいりました。

また、雪かき資機材を必要としているコミュニティ等に資機材を貸出し、市民のたすけあいを応援する活動を推進いたしました。3月2日(日)までに、当センターに寄せられた雪に関する困りごとの相談総数は、446件に上り、その解決のための活動に参加くださったボランティアは延べ656人に上ります。

週末にはより多くの市民にたすけあい活動への参画をいただくべくキャンペーンも実施しました。

2月22日(土)～23日(日)には「前橋いっせい雪かき大作戦！」を企画し、ボランティアの参加と、広く市民がたすけあうことの促進を図りました。

3月1日(土)～3月7日(金)には、「前橋ゆきどけ週間」と題し、これまで相談対応を行ったお宅を社協職員とボランティアとで訪問し、雪によって生じていた生活困難は解決しているか、また、雪に起因して生活が変化したことで、新たな困りごとは生じていないかを確認しております。合わせて、前橋市が進めている「災害時要援護者登録制度」への登録促進、前橋市、前橋市社会福祉協議会が協働で進めている、かかりつけ医、緊急連絡先などを記して冷蔵庫で保管し、救急搬送等に役立てる「安心カード」の設置促進も進めております。

こうした活動を経て、今後は通常の前橋市社協活動の中で相談を承れると判断し、今回の移行に至ったものです。

前橋市大雪たすけあいセンター開設中には、ボランティアをはじめ、NPO法人、企業、各種団体、県内外の前橋市社会福祉協議会、前橋市役所等、多くの方々に支えられ活動を展開することができました。また、全国の方々より活動への激励を頂戴いたしました。これまでのご厚意・ご協力に御礼申し上げますとともに、当会の基本理念「市民みんなが住みなれた地域で安心して暮らせるように」に鑑み、今後も変わらず前橋市の地域福祉推進に努めてまいります。本当にありがとうございました。

お問い合わせ

前橋市大雪たすけあいセンター（前橋市社会福祉協議会）

住所：前橋市日吉町二丁目17-10

今後の連絡先：027-237-1112（前橋市社会福祉協議会）

027-232-3848（前橋市社協ボランティアセンター）



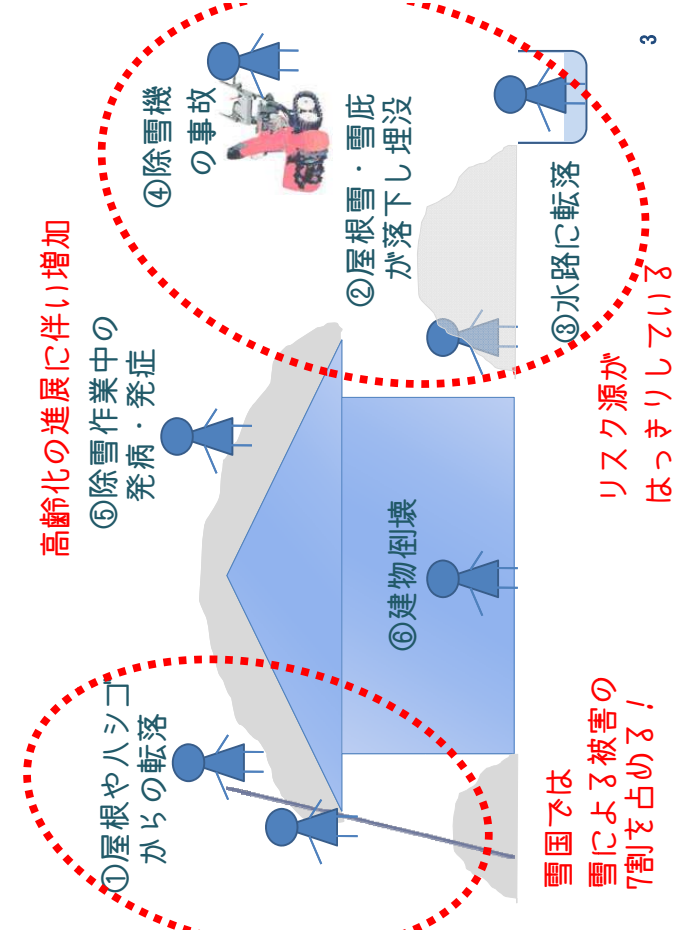
## 課題 (キーワード)

- ▶ コーディネート ◎他の災害と同じ
- ▶ 資機材 △ (○豪雪地からの応援)
- ▶ 技 (勘所) △
- ▶ 安全 ×

# 関東甲信大雪災害における 除雪ボランティアの課題について

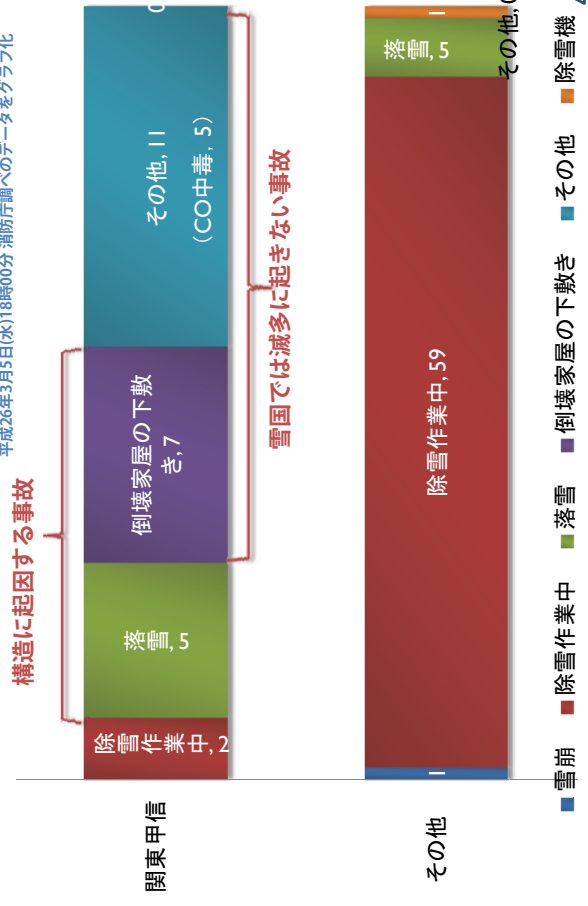
越後雪かき道場®筆頭師範代

上村 靖司



## 平成25年度 雪による被害者

平成26年3月5日(水)18時00分 消防庁調べのデータをグラフ化







融解—再凍結の問題

- 除雪しにくくなる
- 滑り落ちやすくなる ⇒ 落雪事故に!
- 氷ができる ⇒ 綿がコンクリートに



北向きは  
解けにくいため  
滑りにくい



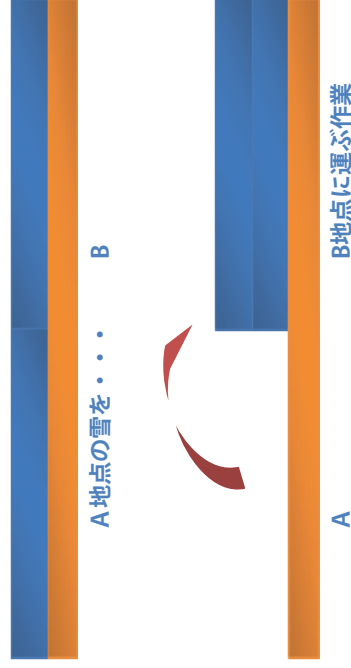
シーズンの  
最初の除雪は  
要注意



南向きは  
解けやすいため  
滑りやすい



## そもそも除雪とは・・・

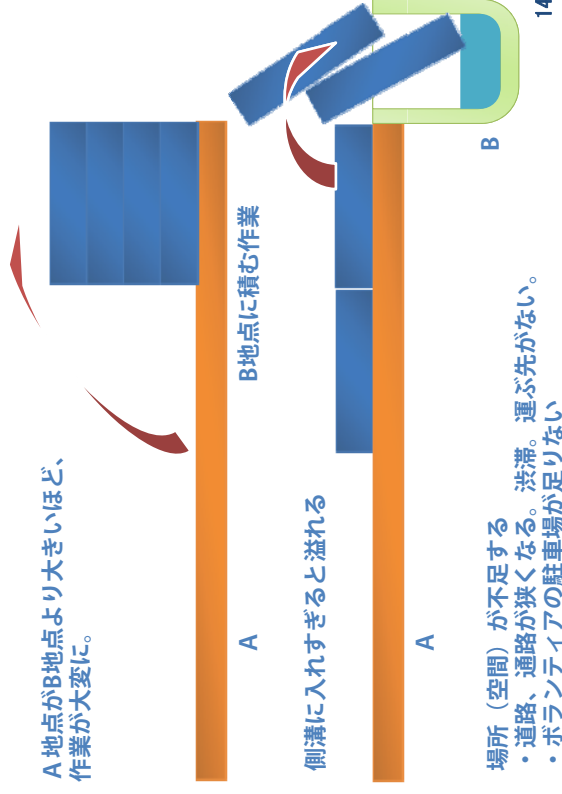


A地点の心配よりも、B地点の確保の方が大事

13



## そもそも除雪とは・・・



A地点がB地点より大きいほど、作業が大変に。

側溝に入れすぎると溢れる

場所（空間）が不足する

- ・道路、通路が狭くなる。渋滞。運ぶ先がない。
- ・ポランテアアの駐車場が足りない

14

毎年が  
防災訓練  
雪の国